

「気候変動への適応」

水災害リスク軽減のための100年戦略フォーラム

～気候変動の不確実性のもとでの適応策の最適化に向けた取り組み～



地球温暖化に伴う気候変動により、世界的に洪水など水災害の拡大が懸念されています。これに対して、CO₂削減対策など地球温暖化自体を抑制する「緩和策」の取り組みに加え、すでに顕在化し始めている水災害に直接対処する「適応策」への取り組みを早急に進めていく必要があります。

本フォーラムでは、「気候変動への適応と水災害リスク軽減のための100年戦略」をテーマに、世界各国や日本における実践的な「適応策」に関する知見を共有するとともに、効果的に「適応策」を実施していくために、今何をすべきかについて幅広い視点から議論します。

2009年9月29日（火） 会場：三田共用会議所

開場 / 13:00 開演 / 13:30 閉会 / 17:30

サルバーノ・ブリセーニョ : 国連国際防災戦略 (ISDR) 事務局長
アヴィナッシュ・ティアギ : 世界気象機関 (WMO) 気候・水部長
ヨス・ヴァン・アルフェン : オランダ交通・公共事業・水管理省
エドワード・ヘッカー : アメリカ陸軍工兵隊

鬼頭 昭雄 : 気象庁気象研究所気象研究部長
三村 信男 : 茨城大学 教授
沖 大幹 : 東京大学生産技術研究所 教授
藤田 光一 : 国土交通省国土技術政策総合研究所流域管理研究官

主催：国土交通省

入場無料
(先着 150 名様)

プログラム

13:00	開場・受付	
13:30	開会挨拶	
13:40	祝辞	「地球規模の災害リスク評価レポートと災害リスク軽減のための国際的な基盤づくりについて」 サルバーノ・ブリセーニョ（国連国際防災戦略（ISDR）事務局長）
14:00	基調講演 1	「気候変動の影響と統合水資源管理」 アヴィナッシュ・ティアギ（世界気象機関（WMO）気候・水部長）
14:40	基調講演 2	「気候変動の影響予測に関する世界的な動きと日本の現状（仮題）」 鬼頭 昭雄（気象庁気象研究所気候研究部長）
15:20	休憩	
15:45	パネル ディスカッション	「気候変動への適応と水災害リスク低減のための100年戦略」 ■パネリスト 三村 信男（茨城大学 教授） 沖 大幹（東京大学生産技術研究所 教授） ヨス・ヴァン・アルフェン（オランダ交通・公共事業・水管理省） エドワード・ヘッカー（アメリカ陸軍工兵隊） 藤田 光一（国土交通省国土技術政策総合研究所流域管理研究官）
17:30	閉会	

※フォーラム終了後にレセプションパーティを予定しております。（参加費が必要です）

同時通訳あり

参加方法

下記申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお送りください。定員が150名ですので、先着の方を優先させていただきます。

電話によるお問い合わせは
平日 10:00～17:00 03-5253-8444（担当マスヤ）

申込締切：9月24日（木）

会場案内

地下鉄麻布十番駅（東京メトロ南北線・都営大江戸線）下車
2番出口より徒歩5分。
※駐車場はございません。



お申込先

申込書 >>>>

参加申込にはお名前の登録が必要です。複数でお申込みの場合はコピーをおとりいただくか、別紙に同事項を御記入の上、お申し込み下さい。

フォーラム開催事務局
FAX：029-864-2688

※いただいた個人情報は、当フォーラム終了後速やかに破棄致します。

（ふりがな）
氏名

メールアドレス

勤務先

部署

役職

住所

電話番号

FAX 番号

フォーラム 参加 ・ 不参加

レセプションパーティー 参加 ・ 不参加